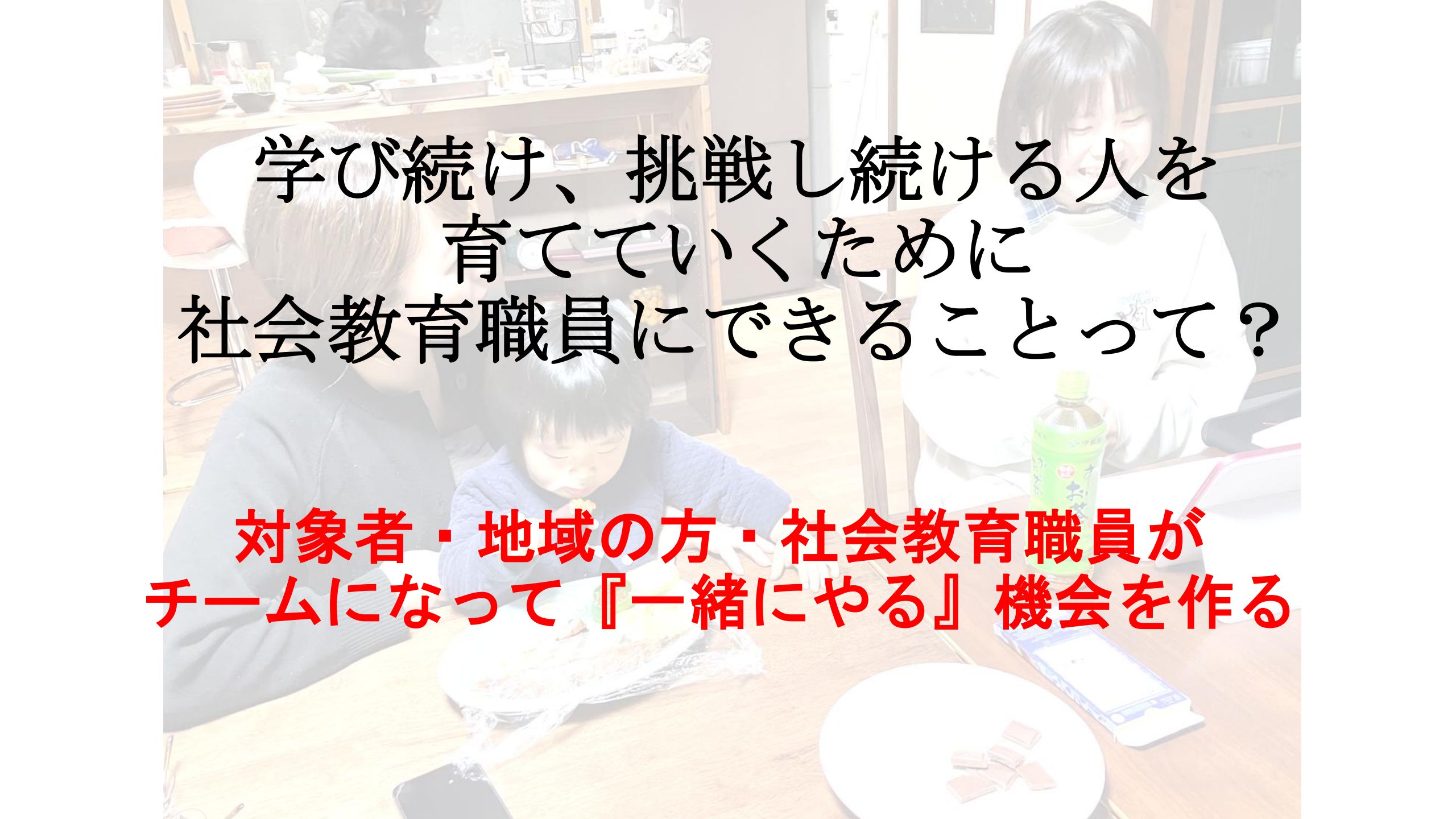


学び続け、 挑戦し続ける人を 育てていくために ～ともに探究し続ける 大人との関わりを通して～

芽室町教育委員会
生涯学習課
社会教育係
地域おこし協力隊
隊員 甲斐 未悠



A photograph of a group of people sitting around a wooden table in a kitchen. In the foreground, a young child in a blue jacket is eating. To the left, a woman in a dark sweater is looking towards the child. To the right, a woman in a white sweater is smiling and looking down. The table has a plate of food, a green bottle, and a smartphone. The background shows a kitchen counter with various items.

学び続け、挑戦し続ける人を
育てていくために
社会教育職員にできることって？

**対象者・地域の方・社会教育職員が
チームになって『一緒にやる』機会を作る**

本日の流れ

- ・ 芽室ジモト大学について
- ・ 事例紹介
- ・ 事例考察
- ・ まとめ



芽室名物 コーン炒飯

芽室ジモト大学



中高生が地域をリアルで多様な教材とし、
地域とともに考動し、ともに芽室愛を育み、
ともに未来を創る人財育成プログラム

目的

- ①次世代の人財育成
(夢の実現への挑戦、社会人基礎力の向上)
- ②芽室への愛着と誇り(芽室愛)の醸成
- ③地域コミュニティの活性化

今年度の取り組み

- ・ 設定プログラム
例) 町内イベント
中高生スタッフ



- ・ 生徒提案プログラム
例) 「めむろを食べる」



- ・ 学校連携プログラム
例) 白樺学園高校
総合的な探究の時間



サイクリング探究のはじまり

男子高校生の
ワクワクする姿

授業の中で街歩き
まちの駅で

町内サイクリングマップを発見



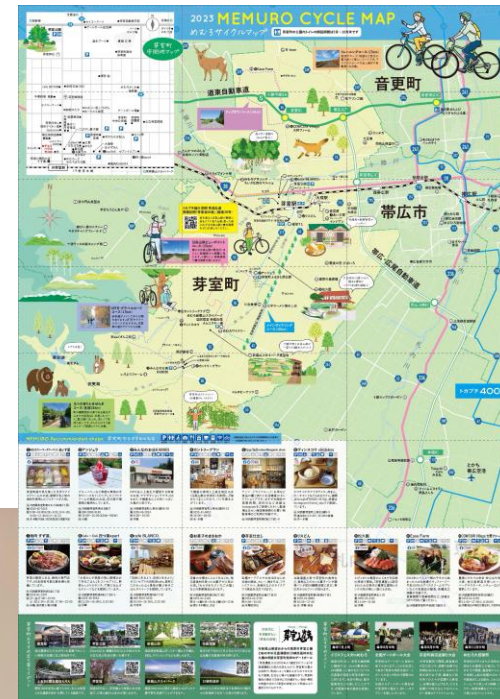
製作者である地域の方と対話の場



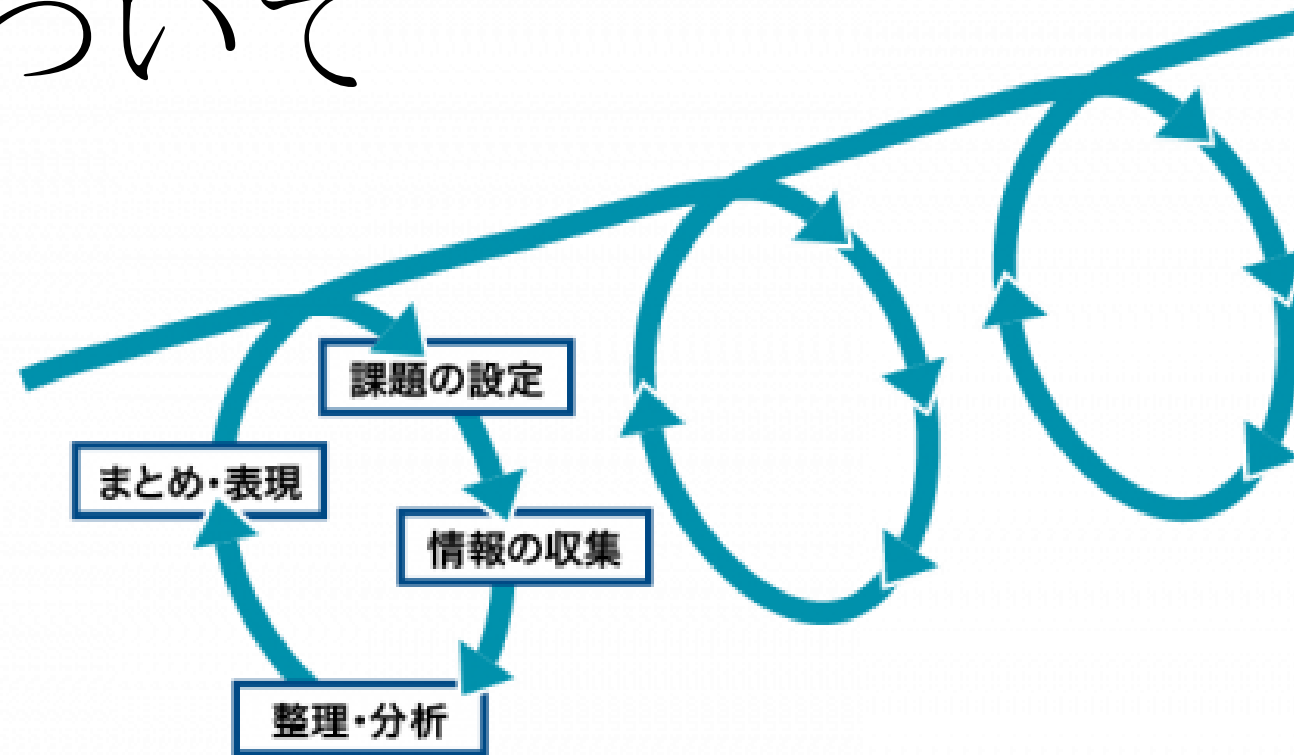
サイクリングという共通項
2人の関係性が深まる



小さなことから
『一緒にやってみよう』



探究について



■日常生活や社会に
目を向け、児童・生徒が
自ら課題を設定する。

■探究の過程を経由する。
①課題の設定
②情報の収集
③整理・分析
④まとめ・表現

■自らの考えや課題が
新たに更新され、
探究の過程が
繰り返される。

探究的な学習における児童の学習の姿

実践①サイクリングツアー ～課題設定～

自己実現

『自分の思う最高のコースで
サイクリングツアーをしてみたい』
『参加者にもサイクリングの楽しさ・
町内の景色の綺麗さを感じて欲しい』

町の
魅力発信



これらを実現するためにはどうする？

実践①サイクリングツアー ～情報収集～

週1（授業内で）打ち合わせ

実際のツアーに参加
◎参加者の目線
◎ガイドの目線



実践①サイクリングツアー ～整理・分析～

リハーサルとして
同時期に町内で研修を
していた、青年海外協力隊
隊員3名に参加者となっ
てもらった。



実践①サイクリングツアー ～まとめ・表現～



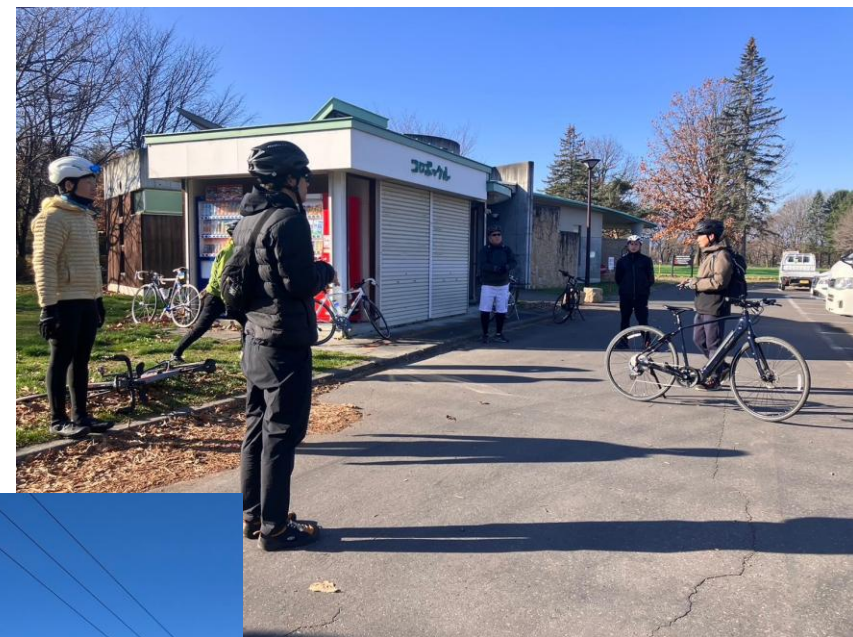
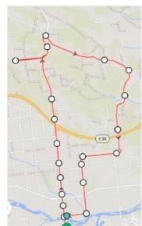
参加費
2000円

ツアー時間
約3時間

定員5人



持ち物
寒い事が予想されるので防寒具と
飲み物
レンタルバイク又は持参自転車



実践②ファットバイクイベント

9時～12時

令和6年度 芽室ジモト大学事業

WinterLeisure TAKANO FARM

2025
2/24 定員
6人

お申込はこちらから



自転車版旗取り
安全のためにコースは3つ！
同時にスタートして先に旗を持ってゴールした順で順位が決まる

タイムスケジュール
9時半～10時オフロードレース
10時半～11時旗取り
11時～12時自由



オリジナルオフロードレース
全長約300mの雪上コースで
普段出来ない走りを体験！

雪上ファットバイクイベントの他にも焚き火や温かい飲み物がある休憩スペースやソリで遊べるフリースペース、手作りサウナも！

主催 芽室町教育委員会
(お問い合わせ先 0155-62-9730)
企画: 白樺学園高校2年 國中優騎
協力(一社) 十勝プラス 高野農場

集合場所 Google map



男子生徒の変化

実践①サイクリングツアー

- 地域の方との関係性によって「やってみよう」が生まれた。
- 専門性を見て学び、『実践→振り返り→次の活動の意欲へ』
- 探究的学びが生徒の世界が広がった



実践②ファットバイクイベント

- どのように企画したらいいか、チラシ作成のノウハウを実践①で学んでいることから、自ら動く姿がある。
- 挑戦する楽しさを感じながら、当日も実践。



学び続け、挑戦し続ける人を 育てていくために 社会教育職員ができること

対象者に自発的な学び、行動を求めるのであれば、

- ◎地域の方との関わる機会を設定する
- ◎対象者・地域の方・社会教育職員が
チームとなって、一緒にやれるような体制を作る
- ◎私達社会教育職員も探究する

ご清聴ありがとうございました



@MEMURO_BOARD_OF_EDUCATION